



■どろんこクラブ みんなで力を合わせて『脱穀』を行いました！ 10/15

■10/15(日)、どろんこクラブで最後の作業となる「脱穀」を行いました。メンバーみんなで収穫した稲を、昔の農機具を使用して脱穀します。使用する農機具は2つ。『足踏式脱穀機』、『唐箕(とうみ)』です。

☑️足踏式脱穀機とは、踏板をリズムよく踏むと、Ω字型の針金の付いた円筒部分が回転し、そこに稲穂を押し付け、粃(もみ)をこそぎ落とす農機具です。

始めのうちは慣れない作業に苦戦していましたが、メンバーみんな呑み込みが早く、あっという間に上手にできるようになりました。一度コツをつかむと、それぞれが夢中で作業に取り組んでいました。



☑️唐箕(とうみ)とは、ハンドルを回し、風を送り、粃とそれ以外を選り分ける農機具です。江戸時代あたりから日本で普及し、その構造は現代のコンバインなどにも取り入れられています。

唐箕をつかった作業も、みんなで協力して真剣に取り組んでいました。初めての体験に、戸惑いながらも積極的に取り組み、力を合わせて脱穀完了です。最後の片付けも責任感を持ってしっかりやり遂げ、メンバーそれぞれが一回りも二回りも成長したようです。



後日、みんなで脱穀したお米を近所のファーム長谷川さんのご協力により、粃すり機で玄米にいただきました。それを近所のコイン精米機にかけて、どろんこクラブオリジナルの「どろんこ米」の完成です。



種もみから育て、脱穀まで自分たちの手で作ったお米のおいしさは格別です。いままでの作業を思い出しながら味わってくださいね！



■ハスの果托を使用したハンドクラフト教室開催！ 10/23



■10/23(月)、ハスの果托を使用したハンドクラフト教室を開催しました。果托の穴の部分に、綿と着物の切れ端で詰め物作り飾り付けます。布の種類が多様多様なので、出来上がったものは唯一無二。みなさん苦戦しながらも作品作りを楽しんでいました。また、詰め物の中に潜ませたラベンダーの香りがアクセントになり、見た目も香りも素敵な作品になりました。講師の先生の優しく丁寧な指導のおかげで、参加者のみなさんそれぞれが充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。



■十三夜 ススキの無料配布 10/26~10/27

■今年は十三夜が10/27(金)でした。今回も、前回の十五夜同様、すすきの無料配布を行いました。十三夜は、秋の収穫に感謝しながら美しい月を愛でる習わしだそうです。今年の十三夜はお月様もきれいに見えましたね。ちなみにお供え物は旬のもの「豆」や「栗」をチョイスするのがいいそうですよ。



■御所沼道入口門扉完成

■駐車場から芝生広場に伸びる御所沼道の入り口に、チェーンに変わり、鉄製の門扉が設置されました。イベントの準備などで車両を園内に入れる方は、管理棟受付までお申し出ください。

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！
公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。
・Instagram @koga_kubou/
・X(旧Twitter) @kubou_park

